

令和2年度 意見交換会事例集

令和3年3月

やまぐち食の安心・安全推進協議会

目 次

本事例集の趣旨	…… 1
意見交換会の種類(例)	…… 1
意見交換会の開催の流れ(例)	…… 2
令和2年度の意見交換会（まとめ）	…… 5
令和2年度の意見交換会（個別事例）	…… 6

本事例集の趣旨

本事例集は、本協議会が今年度開催した意見交換会の状況を取りまとめたもので、今後の意見交換会開催の参考とすることを目的として作成しています。

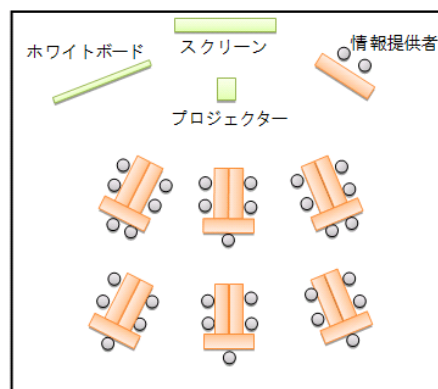
意見交換会の種類（例）

1 ワークショップ形式

参加者は情報提供を受けた後、グループ内で意見交換・討議を行い、その後、グループ発表、全体での意見交換を行い、知識・理解を深める。
（各グループに討議の進行役（ファシリテーター）を配置することが望ましい）

【プログラム例（所要時間：3時間30分）】

開始からの時間	内容
0:00	オリエンテーション・アイスブレイク※
0:15	情報提供（50分程度）
1:05	グループワーク（60分程度） （グループ内で意見交換・討議し、グループの考えや質問を模造紙にまとめる。）
2:05	休憩
2:15	グループ発表（20分程度）
2:35	全体での意見交換（50分程度） （グループ発表の内容及び質問について、情報提供者が回答する。その後、追加質問があれば、参加者が自由に質問する。）
3:25	アンケート記入・閉会



〈会場配置例〉

※アイスブレイク

氷を溶かすように、参加者の緊張感を和らげて、話しやすい雰囲気を作るためなどに行うもので、ゲーム形式など様々な手法がある。

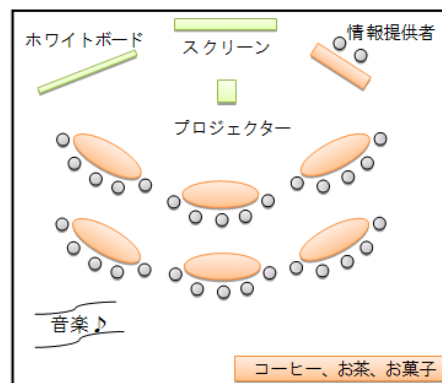
2 サイエンスカフェ及びセミナー形式

気軽な雰囲気の中で、専門家などがなるべく専門用語を使わないで情報提供を行い、参加者は質問カードなどを用いて質問や意見を自由に出し、情報提供者・参加者間で相互に意見交換しながら、知識や視野を広げる。

※参加者が茶菓を喫食しながら行うものをサイエンスカフェ、茶菓の提供を行わないものをセミナー方式とする

【プログラム例（所要時間：2時間）】

開始からの時間	内容
0:00	オリエンテーション
0:10	情報提供（45分程度）
0:55	質問カード記入・休憩
1:10	意見交換（45分程度） （最初に質問カードの内容について情報提供者が回答する。その後、追加質問があれば、参加者が自由に質問する。）
1:55	アンケート記入・閉会



〈サイエンスカフェ会場配置例〉

意見交換会の開催の流れ（例）

◆事前準備

- 1 開催希望団体は、意見交換会開催希望連絡票（別紙1）を生活衛生課に提出する。
 （ ・ 開催希望日の概ね2か月前までに提出すること。
 ・ 未定の項目は空欄で提出し、必要に応じて生活衛生課に相談する。）
- 2 生活衛生課は、開催希望団体と日程等を調整し、内容を決定する。
 （参加人数が少ない場合は、参加者の公募を検討する。）
- 3 開催の3日前までの参加人数がほぼ決定した時点で、開催希望団体は参加人数を生活衛生課に連絡する。
 （ワークショップの場合は、グループワーク班編制表（別紙2）により班編成を行い、ファシリテーターを設置する場合は、選定する。）

◆開催当日

- 1 開始1時間～15分前から会場設営を開始する。
 （参加者が多い場合や会場が広い場合などには、マイクを使用することが望ましい。）
- 2 概ね開始30分前から参加者の受付を開始する。
 （ ・ ファシリテーターを置く場合、打ち合わせを実施する。
 ・ サイエンスカフェ方式の場合、開始までに参加者に飲み物等の提供を行う。）

◆準備品について

開催当日に、必要に応じて以下の物を準備する。

準備品	数	準備する者
<input type="checkbox"/> パソコン	1	生活衛生課もしくは開催希望団体
<input type="checkbox"/> プロジェクター	1	
<input type="checkbox"/> スクリーン	1	
<input type="checkbox"/> 延長コード	1	
<input type="checkbox"/> マイク	2	開催希望団体
<input type="checkbox"/> ホワイトボード	1	
<input type="checkbox"/> 配布資料	参加人数分	生活衛生課もしくは開催希望団体
<input type="checkbox"/> ワークショップの場合		
模造紙	グループ数+ α	生活衛生課もしくは開催希望団体
カラーマジック	グループ数+ α	
大判ポストイット	グループ数+ α	
セロテープ	グループ数+ α	
サインペン	参加人数分	
<input type="checkbox"/> サイエンスカフェの場合		
茶菓	参加人数分	開催希望団体
質問用紙	参加人数分×3枚程度	生活衛生課もしくは開催希望団体
サインペン	参加人数分	
セロテープ	1	

(FAX : 0 8 3 - 9 3 3 - 3 0 7 9 メール : a15300@pref.yamaguchi.lg.jp)

意見交換会開催希望連絡票

団体・機関名	
担当者	
電話、FAX 番号	
メールアドレス	

○意見交換会の開催希望について

開催日時	第1希望 令和 年 月 日 (: ~ :) 第2希望 令和 年 月 日 (: ~ :) 第3希望 令和 年 月 日 (: ~ :)
場 所	○開催希望施設を記載ください。施設が未定の場合は、市町単位で記載ください。 ()
テ ー マ	○いずれかを選択ください。 微生物による食中毒の予防 (ノロウイルス、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌、その他 ()) 食品表示 、食品添加物 、食品中の放射性物質 、残留農薬 、輸入食品、 遺伝子組換え食品、BSE(牛海綿状脳症)、HACCP 、最近の食に関する話題、 一問一答 (事前質問に回答)、事業者の自主的な取組 (事業者との意見交換)、 その他 ()
形 式	○いずれかを選択ください。 ワークショップ 、サイエンスカフェ 、セミナー 、 事業所見学 、 その他 ()
参加人数	○貴団体・機関からの参加人数を記載ください。 (人) ○参加者の公募について、記載してください。 公募する (人程度) 、 公募しない
情報提供者	○希望があれば記載ください。 ()
そ の 他 (要望等)	

グループワーク班編制表

グループ	ファシリテーター	グループメンバー
A		
B		
C		
D		
E		

・各グループの人数は、5～6人程度が望ましい。

令和2年度の意見交換会（まとめ）

＜令和2年度の開催結果＞

意見交換会の開催回数	8回
参加人数	224人

＜意見交換会一覧＞

No	形式	開催日	場所	主たる共催団体	テーマ	参加人数
1	サイエンス カフェ	3月2日	周防 大島町	地域消費者団体連絡協議会	食中毒	19
2	セミナー	10月20日	宇部市	宇部西ロータリークラブ	食の安心・ 安全につ いて	41
3		11月9日	周南市	地域消費者団体連絡協議会	輸入食品・ 衛生的な 取扱い・万 全の手洗 い	21
4		11月9日	岩国市	食の安心モニター 食の安心コミュニティ活動リー ダー 国立研究開発法人水産研究・教 育機構水産大学校	食中毒	13
5		11月16日	下関市	食の安心モニター 食の安心コミュニティ活動リー ダー 国立研究開発法人水産研究・ 教育機構水産大学校	食中毒	10
6		11月24日	山口市	食の安心モニター 食の安心コミュニティ活動リー ダー 国立研究開発法人水産研究・ 教育機構水産大学校	食中毒	18
7		12月4日	山口市	山口大学	カフェイン 健康食品	27
8		パネルディス カッション	11月19日	山口市	(一社)山口県食品衛生協会	HACCP等

意見交換会事例(サイエンスカフェ方式)

No. 1

形式	サイエンスカフェ形式
開催日時	令和3年3月2日(水) 10:00～11:20
場所	しまとぴあスカイセンター ホール
共催団体	周防大島町消費者連絡会 (山口県地域消費者団体連絡協議会)
テーマ	食中毒について
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課
参加人数	19名 (周防大島町消費者連絡会会員)
プログラム	<p>9:45頃 茶菓の提供 (持ち帰り形式)</p> <p>10:00 開会</p> <p>10:05 情報提供「食中毒について」</p> <p>10:45 手洗いチェッカーを用いて、日々の手洗いを確認</p> <p>11:20 閉会・アンケート記入</p>
準備	<p>周防大島町消費者連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶菓の準備 ・参加者募集 ・会場準備 ・備品準備 (マイク、スクリーン 等) ・資料準備 <p>山口県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品準備 (パソコン 等) ・資料準備
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いをしてみて、よごれが残っているのを目の当たりにして、普段よりしっかり洗ったつもりなのにおどろいた。もっとしっかりきちんと洗いたいと思いました。 ・手洗いチェックの体験させて頂き、洗い方の悪さを実感しました。今後は、しっかり手洗い習慣を身につけます。

意見交換会事例（セミナー形式）

No. 2

形式	セミナー形式
開催日時	令和2年10月20日(火) 13:00～13:30
場所	ANAクラウンプラザホテル宇部
共催団体	宇部西ロータリークラブ
テーマ	食の安心・安全について
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課
参加人数	41名（宇部西ロータリークラブ会員）
プログラム	13:00 情報提供 ・食の安心・安全について ・HACCPに沿った衛生管理について 13:25 質疑応答 13:30 閉会
準備	宇部西ロータリークラブ ・参加者募集 ・会場準備 ・備品準備（プロジェクター、スクリーン 等） 山口県生活衛生課 ・備品準備（パソコン） ・資料準備

式	セミナー形式
開催日時	令和2年11月9日(月) 13:30～15:00
場所	周南市シビック交流センター 交流室1
共催団体	周南消費者協会（山口県地域消費者団体連絡協議会）
テーマ	正しく知ろう！！「輸入食品の安全性・食品の衛生的な取扱い・万全な手洗い」
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課
参加人数	21名（周南消費者協会員）
プログラム	13:30 情報提供 「食べ物のリスクを考えよう～リスクアナリシスと食品の選択～」 「食中毒を予防しよう」 14:30 手洗いチェッカーを用いて、日々の手洗いの確認 15:00 閉会
準備	周南消費者協会 ・参加者募集 ・会場準備 ・備品準備（プロジェクター、スクリーン等） ・資料準備 山口県生活衛生課 ・備品準備（パソコン） ・資料準備
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・このような機会があると、日々の生活を振り返る機会となり大変良かったと思う。 ・輸入食品の安全性が管理されているのが意外だった。 ・保存料などは本当に大丈夫なのだろうかと思います。 ・輸入食品の安全性確保のために対策が取られていることがわかり少し安心した。

形式	セミナー形式
開催日時	令和2年11月9日(月) 14:00～16:00
場所	岩国総合庁舎 2階 共用第2会議室
共催団体	食の安心モニター 食の安心コミュニティ活動リーダー 国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学校
テーマ	食中毒について
情報提供者	水産大学校食品科学課 古下准教授
参加人数	13名(食の安心モニター、食の安心コミュニティ活動リーダー)
プログラム	14:00 開会・食の安心モニター定期報告概要の報告 14:10 情報提供「食中毒について」 〔 ATP 拭き取り検査による手洗い効果の実施 〕 15:30 頃 質疑応答 16:00 頃 閉会・アンケート記入
準備	生活衛生課 ・参加者募集 ・会場準備 ・備品準備(プロジェクター、スクリーン等) 水産大学校 ・備品準備(パソコン) ・資料準備
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・本格的な話が聞けて勉強になりました。特に手洗い→消毒のお話はこれからの生活に役立つ内容でした。 ・食中毒の話がよくわかりました。実験があり、話がわかりやすかった。 ・毒キノコと食用の区別は本当に難しいので、役立ちました。迷信は信じないことです。 ・手の汚れの実験は興味深かった。手洗いの大切さがわかった。

形式	セミナー形式
開催日時	令和2年11月16日(月) 14:00～16:00
場所	下関市生涯学習プラザ 2階 学習室1
共催団体	食の安心モニター 食の安心コミュニティ活動リーダー 国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学校
テーマ	食中毒について
情報提供者	水産大学校食品科学課 古下准教授
参加人数	10名（食の安心モニター、食の安心コミュニティ活動リーダー）
プログラム	14:00 開会・食の安心モニター定期報告概要の報告 14:10 情報提供「食中毒について」 〔 サバを用いたアニサキスの見学 〕 〔 ATP 拭き取り検査による手洗い効果の実施 〕 15:30頃 質疑応答 16:00 閉会・アンケート記入
準備	生活衛生課 ・参加者募集 ・会場準備 ・備品準備（プロジェクター、スクリーン 等） 水産大学校 ・備品準備（パソコン） ・資料準備
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活を今一度考え、暮していく大切さを痛感しました。手指の洗浄・消毒を改めて気をつけたく深く考えてしまいました。 ・手の汚れについて、実際に見て確かめられたのが良かったです。消毒液をかけるだけではダメだという事が良くわかりました。わかりやすく、聞きやすかったです。カンピロバクター、アニサキスに注意しようと思います。 ・講義だけでなく、実験もあり、とても良かった。 ・ウイルスが毎年ちがっていることにおどろきました。手の洗い方について、改めて勉強になりました。

形式	セミナー形式
開催日時	令和2年11月24日(火) 14:00～16:00
場所	山口県庁 1階 視聴覚室
共催団体	食の安心モニター 食の安心コミュニティ活動リーダー 国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学校
テーマ	食中毒について
情報提供者	水産大学校食品科学課 古下准教授
参加人数	18名 (食の安心モニター、食の安心コミュニティ活動リーダー)
プログラム	14:00 開会・食の安心モニター定期報告概要の報告 14:10 情報提供「食中毒について」 (サバを用いたアニサキスの見学) (ATP 拭き取り検査による手洗い効果の実施) 15:30 頃 質疑応答 16:00 閉会・アンケート記入
準備	生活衛生課 ・参加者募集 ・会場準備 ・備品準備 (プロジェクター、スクリーン 等) 水産大学校 ・備品準備 (パソコン) ・資料準備
参加者の感想 (アンケート結果より)	・とても良い講話内容でした。お刺身・寿司が食べづらくなりました。日々の包丁・まな板の衛生管理をやり直します。 ・サバに付いているアニサキスを実際に見せて頂き寄生虫の恐ろしさを学んだ。カンピロバクターの予防も良く分かった。 ・アニサキスの現場を見せてもらってよくわかりました。 ・とても興味深い、又、理解しやすい身近なテーマでよかったです。講師の方もテンポよい話し方で 楽しく、身につく時間でした。

形式	セミナー形式
開催日時	令和2年12月4日(金) 12:50～14:00
場所	山口大学
共催団体	山口大学 経済学部
テーマ	食べ物のリスクを考えよう ～カフェイン・健康食品との付き合い方～
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課
参加人数	27名(山口大学生)
プログラム	12:50 開会 13:00 情報提供 「食べ物のリスクを考えよう ～カフェイン・健康食品との付き合い方～」 14:00 閉会
準備	山口大学 ・参加者募集 ・会場準備 ・備品準備(プロジェクター、スクリーン等) 山口県生活衛生課 ・備品準備(パソコン) ・資料準備

意見交換会事例(パネルディスカッション)

No. 8

形式	パネルディスカッション
開催日時	令和2年11月19日(木) 13:30~16:00
場所	山口県総合保健会館 第1研修室
主催団体	(一社)山口県食品衛生協会
テーマ	HACCP、自主回収、食品表示、食中毒予防 等
コーディネーター	山口県立大学看護栄養学部栄養学科教授 人見英里氏
パネリスト	<ul style="list-style-type: none"> ○消費者代表 <ul style="list-style-type: none"> 山口県地域消費者団体連絡協議会 山口県消費者団体連絡協議会 ○事業者 <ul style="list-style-type: none"> (一社)山口県食品衛生協会 ○行政 <ul style="list-style-type: none"> 山口県環境生活部生活衛生課
参加人数	75人